



◀ そのほかの取材記事はこちらから

松村美沙枝 赤こんリポーター



豊富な資源を有効活用
竹林整備&竹細工ワークショップ

12月20日、島学区内で里山みんなの未来くらぶの「竹林整備&竹細工ワークショップ」が開催されました。前半は実際に竹林に入り、竹の切り方や荒れた場所の整備の方法を学びながら、枯れ竹で竹炭を作りました。後半は講師の大西伸子さんが作成した地産の竹ひごを使用し、かごの編み方を学びました。大西さんは「竹はとても強い植物で、身近に入手できる。生かしていれば、良い循環になる」と話していました。すっきりキレイになった竹林に、心が清々しくなりました。

西野康代 赤こんリポーター



ドラマや映画のロケ地・近江八幡

ドラマや映画を観ていると、時々見慣れた風景が画面に広がり、「あ、近江八幡だ！」と思わず声を出してしまいます。よく登場するのはやはり八幡堀、西の湖周辺です。その他にもヴォーリス学園、奥石神社、まちや倶楽部、堀切港、沖島など、市内各地がロケ地になっています。今年のNHKの連続テレビ小説「ばけげんや」では八幡小学校がロケ地として使用されました。昨年7月と今年1月、撮影があると聞き取材をさせてもらおうと、たくさんのスタッフが丁寧にそれぞれの持ち場で仕事をしていました。NHKと滋賀ロケーションオフィス、市が協力しての現場でした。この歴史ある美しいまちを誇りに思うとともに、たくさんの人に知ってもらいたいと願っています。

向坂奈穂美 赤こんリポーター



可愛くておいしい、わたしのお餅♪

12月28日、「おうちカフェ KOMERO」で開催されたお餅つきに参加してきました。杵が臼に振り下ろされるたび、「パーン！」と迫力のある音が響きます。炊きたての餅米は、つくごとに姿を変え、みるみる美味しそうなお餅に。出来上がったお餅は、参加者それぞれの手で丸めていきます。「うまくてきた!」「難しいね」親子の会話が弾み、和やかな時間が流れました。

そして完成したお餅は、その場で味わいます。自分で作ったお餅は、なんだかいつもよりおいしい。いろんな大きさになって、どれも可愛らしい。手作りのぬくもりに触れたひとときでした。

山田恵美 赤こんリポーター



温かな交流を育むボランティア活動

ヴォーリス記念病院(円山町)では、地域の人が病棟ティーサービスや園芸、話し相手などさまざまなかたちのボランティア活動をしています。ティーサービスでは、ボランティアが病棟を周りながら毎回80杯程のコーヒーを淹れています。ボランティアの森シゲミさんは「以前、親族が入院していた時にティーサービスを受けて、自分の時間ができたときにボランティアをしたいと思った」「コーヒーを飲んだ時に見せてくださるゴールデンスマイルがうれしい」と活動のきっかけややりがいを話してくれました。地域とつながり、温かい交流を育んでいるヴォーリス記念病院のボランティア活動。随時ボランティアを募集されているので、興味のある人は見学可能です。



市内のイベント情報ははこちらから▶

1月18日



安土城築城450年記念
第72回近江八幡駅伝競走大会

新春恒例の駅伝競走大会が市内で開かれ、7部門69チームのランナーたちが、新春のまちなみや琵琶湖畔でタスクをつなぎ頂点をめざしました。今年は安土城築城450年に合わせ、初めてあづちマリエート前からスタート。沿道には多くの観客が集まり、声援を送っていました。市内順位では、学区対抗の部は桐原学区、中学の部男子は八幡中学校陸上部、中学の部女子は八幡中学校バスケットボール部・陸上部などがそれぞれ1位となりました。

12月18日・1月5日



今までありがとう、これからよろしくね

令和7年12月、旧庁舎は54年間の歴史に幕を閉じました。18日には近江八幡ロータリークラブがクロージングイベントを主催し、八幡工業高校によるプロジェクトマップ、近江兄弟社高校によるプラスバンド演奏などが行われました。旧庁舎に昔の風景や伝統の祭り、地域の名所などの映像が流れると、見物客はふるまわれた温かい軽食を片手に、静かに旧庁舎を見上げていました。年が明けて1月5日は、新庁舎の開庁式が行われ、松岡静司市連合自治会長をはじめ約50人の来賓が訪れました。小西理近江八幡市長は「供用開始にあたり、市民サービス向上と市政の発展のため、職員一同新たな気持ちで業務に取り組んでまいります」とあいさつしました。

1月11日



「勇往邁進」誓う言葉

寒中の厳しい冷え込みとなった11日、市文化会館で成人式が開かれ、615人が参加しました。色鮮やかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ成人たちは、旧友との再会に喜び、笑顔を見せながら話に花を咲かせていました。式典では、新成人代表の南諒磨さんが「私たちが今日この日を迎えられたのは、家族や先生たち、地域の皆さまの日々の励ましや見守りのおかげです。今年のテーマ『勇往邁進』は、困難を恐れず、目標に向かってひたすら勇ましく、まっすぐに突き進むことを意味します。ここに集う仲間とともに、感謝を忘れず、前向きに進んでいきます」と感謝と決意を述べ、はたちの門出に地域社会の一員としての自覚を新たにしました。

1月5日



新庁舎に家具や遊具一式を寄贈

新庁舎の開庁に合わせ、(株)ひょうたんやから1階多目的スペースに机や椅子などの家具を、(一財)村松報恩会から2階キッズスペース「むらまつ文庫」に遊具や絵本などを寄贈いただきました。多目的スペースは、受付の待ち時間を過ごしたり、催事が行われたりすることを想定しているスペースで、シンプルで使い勝手がよいデザインの家具や、地元のヨシを天板に使用した机などが設置されています。2階は教育と福祉のフロアとなっており、むらまつ文庫では子どもが楽しく絵本や図鑑に触れ合うことができる場となっています。これから市で大切に活用させていただきます。